

証券コード：2397

# 第18期 事業報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

# 株主の皆様へ



代表取締役社長  
的場 亮

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今の遺伝子を中心としたバイオテクノロジー技術の進歩は目覚ましく、それらを利用した新しい発見や研究成果などから、医療分野への応用が広がっています。一方で、世界的な超高齢化社会を迎えるにあたり、我々は、労働力の減少、年金や社会保障の問題など、様々な社会問題を抱えています。特に、国民医療費は年々増加し、国の財政の多くを占めており、これを解決するためには、予防医療のための（病気にならないための）新しい診断ツール開発が期待されています。

DNAチップ研究所は設立以来、ライフサイエンス分野を通じて、遺伝子やゲノムのエキスパートとして優れた技術開発

をしながら、世の中に役立つ、研究開発、商品開発を行い、サービスを展開してまいりました。そしてさらに、診断事業へ展開し、情報化時代に即した、最新の技術を取り入れるとともに、独自技術開発により最先端の研究開発ができる体制を整えて、誰もが健やかに、幸せに暮らせるための診断ツール開発を行ってまいります。

## 当期の経営成績

当期におけるわが国経済は、各種政策の効果などを背景に企業収益が好調に推移し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、新興国や資源国経済の減速、米国経済の動向や英国のEU離脱問題など依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻くライフサイエンス分野におきましては、国立大学法人東京工業大学の大隅良典栄誉教授がオートファジーの仕組みを解明した成果が認められ、2016年10月にノーベル生理学・医学賞を受賞されました。

また、近年のICT（情報通信技術）の進展により、ライフサイエンス分野におきましても高精度モニター、シミュレータ、ビッグデータなどが、医療現場に活用され、システム医療の進展が医療の高精度化へ寄与したり、診断記録・レポートなどの診療情報の時系列統合データに基づく医療提供システムが発展することなどに伴い、情報通信関連企業の参入も相次いでおります。

さらに、医療分野の研究開発及びその環境整備の中核的な役割を担う機関である国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）で、基礎研究から実用化まで各省庁横串で一貫したマネジメントのもと実施されるようになりました。このような環境変化は、当社が属するライフサイエンス業界にとって、研究成果の早期実用化を推進するなど、今後の明るい材料となっております。

このような状況下において当社は、方針を「開発力強化と事業化加速」と定め、オープンイノベーション、最新の技術の事業化及びグローバル化を進めることにより、研究受託事業の拡充と診断事業の強化を目指しております。

この結果、当期の売上高は、324百万円（前期比114.2%）、営業損失は152百万円で、経常損失は151百万円、当期純損失は211百万円となりました。

なお、平成29年3月期は特別損失において減損損失59百万円を計上しております。

## ■ 研究受託事業

研究受託事業におきましては、大学や研究機関、製薬・食品会社等を主な顧客としてDNAチップ関連の解析や統計処理、カスタムチップの設計等を行っております。主要なサービスとして受託解析サービスと次世代シーケンズ解析サービスがあります。

### i. 受託解析サービス

マイクロアレイを使用した受託解析サービスでは、製薬会社、食品会社等への積極的な提案型営業を行うとともに、大学病院、研究所等の顧客に対しては、きめ細かなフォローを推進しております。

また、「デジタルPCR受託サービス」や「再生医療研究分野に向けた間葉系幹細胞の品質評価解析サービス（C3チェックサービス）」等新規サービスメニューの拡充を図っております。

### ii. 次世代シーケンズ解析サービス

次世代シーケンズ解析サービスにおきましては、顧客の目的に合わせた実験デザインの提案、データ解析およびサポートに力を入れております。また、「16srRNA細菌叢解析」、「CanCER Panel解析」等新規サービスメニューの拡充を図っております。

その結果、当期の売上高は、310百万円（前年比111.9%）となりました。

## ■ 診断事業

診断事業におきましては、RNAチェックの代表検査として「免疫年齢」（免疫細胞の加齢遺伝子の動き具合から体内年齢を予測するサービス）及びDNAチェックの代表検査として「EGFR-NGSチェック」（肺がんを対象とした血中腫瘍DNA変異検出サービス）の販促活動を継続して行っております。他に、「リウマチチェック3」（関節リウマチの薬剤効果予測検査の多剤効果予測検査サービス）につきましても、平成28年7月にサービスを開始し、販促活動を継続して行っております。

「免疫年齢」は、順調に契約クリニック数を増やしており、安定的に受注を獲得しております。

「リウマチチェック3」、「EGFR-NGSチェック」とも将来の薬事承認、保険収載に向けた活動を強化しております。

また、海外展開におきましては、アジア圏を中心に販促活動を行っております。特にシンガポールにおいて、「ハイブリ先生」（教育用DNAチップ）の普及に努めております。さらに、「TBONE EX KET」（硬組織用（歯・骨）DNAキット）をオセアニア圏及びアメリカの販社と連携し販売しております。加えて、当事業年度におきましては、DNAチェックのSNP検査の受注も獲得しております。

その結果、当期の売上高は、13百万円（前年比217.0%）となりました。

平成29年6月

代表取締役社長 的場 亮

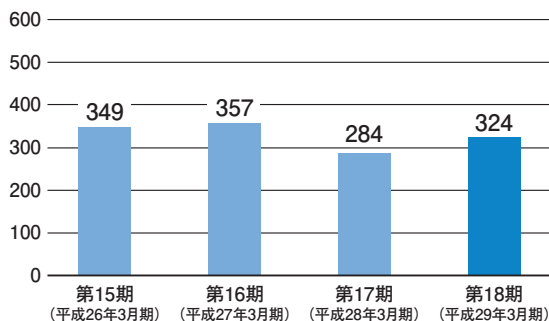
## Contents

● 株主の皆様へ	1	● 事業の内容	5
● 財務諸表	3	● 会社の概況	6



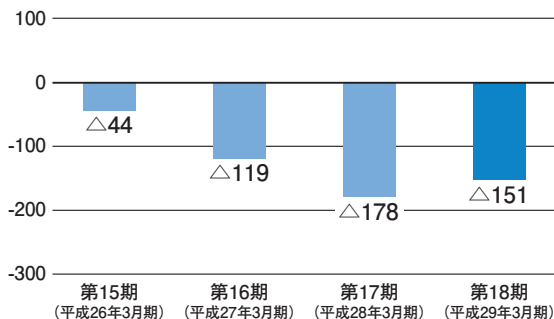
### 売上高

(単位：百万円)



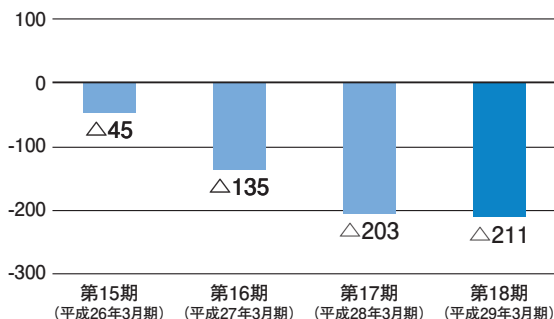
### 経常利益

(単位：百万円)



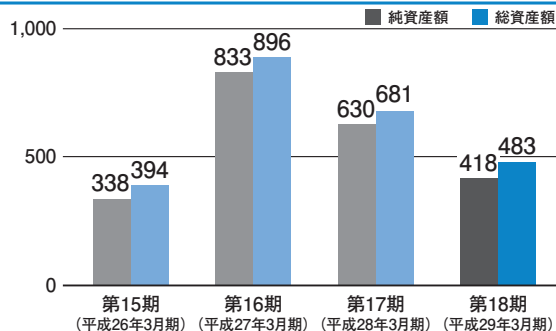
### 当期純利益

(単位：百万円)



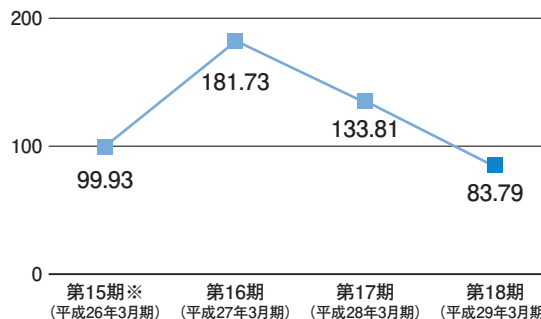
### 純資産額／総資産額

(単位：百万円)



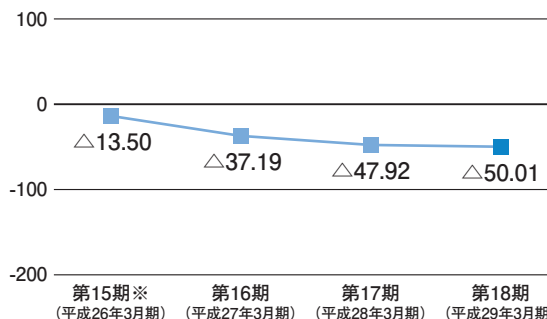
### 1株当たり純資産額 ※

(単位：円)



### 1株当たり当期純利益 ※

(単位：円)



※注1 平成25年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。第15期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、当期純利益を算定しております。

※注2 平成26年12月8日に第三者割当増資により発行済株式は848,000株増加しました。

# 財務諸表

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 平成28年3月31日	当事業年度 平成29年3月31日	科目	前事業年度 平成28年3月31日	当事業年度 平成29年3月31日
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>610,644</b>	<b>477,536</b>	<b>流動負債</b>	<b>47,480</b>	<b>59,807</b>
現金及び預金	498,968	355,213	買掛金	19,729	22,365
受取手形	20,276	15,471	未払法人税等	6,257	7,813
売掛金	70,600	97,078	未払消費税等	—	6,062
商品	1,496	0	未払費用	20,387	22,417
仕掛品	82	240	預り金	1,105	1,147
貯蔵品	1,332	1,272	<b>固定負債</b>	<b>3,813</b>	<b>4,881</b>
前払費用	10,197	7,383	退職給付引当金	3,813	4,881
その他	7,690	876	<b>負債合計</b>	<b>51,293</b>	<b>64,688</b>
<b>固定資産</b>	<b>70,977</b>	<b>5,544</b>	<b>純資産の部</b>		
<b>有形固定資産</b>	<b>47,460</b>	<b>0</b>	<b>株主資本</b>	<b>567,024</b>	<b>355,089</b>
建物	36,896	0	資本金	1,400,024	1,400,024
工具、器具及び備品	10,564	0	資本剰余金	1,312,574	1,312,574
<b>無形固定資産</b>	<b>1,500</b>	<b>771</b>	資本準備金	1,312,574	1,312,574
特許権	—	771	利益剰余金	△2,145,530	△2,357,440
施設利用権	0	0	その他利益剰余金	△2,145,530	△2,357,440
ソフトウェア	1,500	0	繰越利益剰余金	△2,145,530	△2,357,440
<b>投資その他の資産</b>	<b>22,017</b>	<b>4,773</b>	自己株式	△43	△68
投資有価証券	0	0	<b>新株予約権</b>	<b>63,303</b>	<b>63,303</b>
敷金	—	3,576	<b>純資産合計</b>	<b>630,328</b>	<b>418,392</b>
その他	22,017	1,197	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>681,621</b>	<b>483,081</b>
<b>資産合計</b>	<b>681,621</b>	<b>483,081</b>			



## 損益計算書

(単位：千円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高	284,156	324,646
売上原価	287,491	263,767
売上総利益又は売上総損失	△3,335	60,879
販売費及び一般管理費	175,506	213,443
営業損失	△178,841	△152,564
営業外収益	489	1,379
受取利息	414	4
受取賃借料	55	1,292
その他	20	81
経常損失	△178,351	△151,226
特別利益	3	—
その他	3	—
特別損失	23,334	59,486
減損損失	—	59,486
事務所移転費用	23,242	—
その他	92	0
税引前当期純損失	△201,682	△210,713
法人税、住民税及び事業税	1,382	1,196
当期純損失	△203,065	△211,909

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△216,536	△135,401
投資活動による キャッシュ・フロー	△75,403	△8,327
財務活動による キャッシュ・フロー	—	△25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△291,940	△143,754
現金及び現金同等物の 期首残高	790,908	498,968
現金及び現金同等物の 期末残高	498,968	355,213

## 株主資本等変動計算書

(自平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株 主 資 本 合 計
		資本準備金	資本剰余金 合 計	その他利益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金	利益剰余金 合 計				
当期首残高	1,400,024	1,312,574	1,312,574	△2,145,530	△2,145,530	△43	567,024	63,303	630,328
当期変動額									
当期純損失(△)				△211,909	△211,909		△211,909		△211,909
自己株式の取得						△25	△25		△25
当期変動額合計	—	—	—	△211,909	△211,909	△25	△211,935	—	△211,935
当期末残高	1,400,024	1,312,574	1,312,574	△2,357,440	△2,357,440	△68	355,089	63,303	418,392

# 事業の内容

## ■ 研究開発

DNAチップ研究所は、ライフサイエンス研究とバイオ産業に貢献する研究開発型ベンチャー企業です。以下を常に心がけ、研究に取り組んでいます。

1. 「創造的革新」をモットーに
2. グローバル化を意識した最高レベルの技術を磨き
3. 信頼関係に基づく共同研究と自己啓発に努め
4. 国際的情報収集、先進的情報解析能力を駆使し
5. この分野で第一の研究ベンチャーとして
6. レベルの高い研究成果を出すのに貢献する

## ■ 研究テーマ

### →RNAチェック™



- 関節リウマチ薬剤効果予測、疾患マーカー探索
- うつ病マーカー探索
- 免疫年齢
- 大腸癌診断用チップの開発とそれを用いたステージII大腸癌の予後予測
- 悪性神経膠腫（グリオーマ）の予後予測アルゴリズムの開発

## ■ 受託サービス



異なるプラットフォームを用いた多面的な研究受託サービスメニューの提供をいたします。実験計画のお手伝いから、実験、統計解析、論文作成など専門のスタッフが細やかにサポートいたします。

- マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析、miRNA発現解析、ゲノム構造解析
- 次世代シーケンサを用いた遺伝子発現解析、Small RNA解析、エクソーム解析、メチレーション解析
- Real Time PCR、デジタルPCPによる遺伝子発現解析、miRNA発現解析
- 統計解析サービス

## ■ 診断事業（研究用）

-  リウマチチェック 関節リウマチ生物学的製剤インフリキシマブの効果予測検査サービス
-  MammaPrint（マンマプリント） 乳癌の再発リスクを予測する新しい検査サービス
- 免疫年齢：遺伝子発現による生体年齢予測検査サービス
- EGFR-NGS Check：血しょう遊離DNAのEGFR遺伝子低頻度変異検出サービス

## ■ 製品

-  ハイブリ先生 教育用DNAチップ教材
-  TBONE EX Kit：硬組織（歯牙・骨）用DNA抽出キット
- iCIS 臨床現場で研究に必要なデータをデータベース化する臨床インフォマティクス支援ソリューション
- iRIS 臨床現場向けの簡易な症状入力と診断情報の入力可能な関節リウマチ問診システム



# 会社の概況

## ■ 会社概要

会社名 株式会社 DNAチップ研究所  
 英文名 DNA Chip Research Inc.  
 設立年月日 1999年4月1日  
 住所 東京都港区海岸一丁目15番1号  
 資本金 140,002万円  
 従業員 27名 (内Ph.D. 8名 役員含)  
 役員 代表取締役社長 的場 亮  
 取締役 堀川 裕司  
 取締役 (監査等委員) 山田 國夫  
 取締役 (監査等委員) 片山 登喜男  
 取締役 (監査等委員) 君塚 元一  
 加盟団体 財団法人バイオインダストリー協会 (JBA)  
 NPO法人 バイオチップコンソーシアム (JMAC) 等

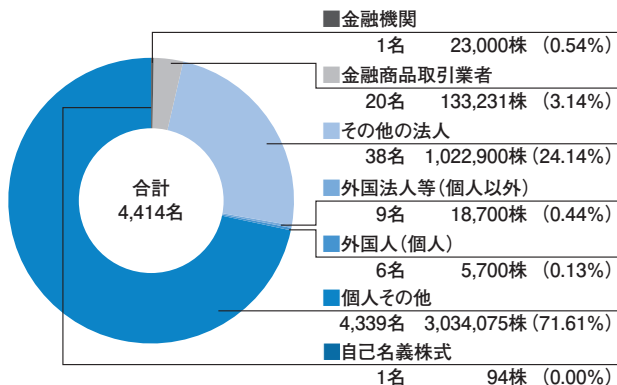
## ■ 株式の状況

①発行可能株式総数 10,080,000株  
 ②発行済株式総数 4,237,700株  
 (自己株式94株含む)  
 ③株主数 4,414名

## ■ 大株主

株主名	持株数	持株比率
(株) エンブラス	848,000株	20.01%
松原 謙一	70,000株	1.65%
森 淳彦	70,000株	1.65%
(株) サン・クロレラ	70,000株	1.65%
枝松 七郎	63,400株	1.49%
藤尾 晋作	60,900株	1.43%
吉富 逸雄	50,000株	1.17%
大塚 榮子	48,000株	1.13%
藤井 衛	40,000株	0.94%
戸島 和博	37,400株	0.88%

## ■ 株主分布状況



## ■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当 3月31日（期末配当金）

受領株主確定日 9月30日（中間配当金）

定時株主総会 6月

公告掲載方法 電子公告  
電子公告は当社のホームページに記載しております。  
ホームページアドレス  
(<http://www.dna-chip.co.jp/>)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の  
口座管理機関 東京証券代行株式会社  
東京都千代田区大手町二丁目6番2号  
(日本ビル4階)

(郵便物送付先)  
連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711（通話料無料）

### ・住所変更等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申出ください。

### (ご案内)

少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## ■ 当社ホームページのトップ画面



<http://www.dna-chip.co.jp/>